

カタリナ

学報

第44号



St. Catherine University

聖カタリナ大学 / 聖カタリナ大学短期大学部

2020. 6. 1



新入学生へのメッセージ

学長 ホビノ・サンミゲル



入学生の皆さん、入学おめでとうございます。

今年度はコロナウイルスのパンデミアの関係で入学式を一緒に祝うことができなかつたことは極めて残念です。それにもかかわらず、皆さんが元気で本学に入学できたことに対して、私たち教職員は心から歓迎いたします。そして皆さんのご両親にも心より感謝とお喜びを申し上げます。

皆さんは本学に入学することによって高等教育を始めることとなります。この高等教育を修得するためには、先ず心を整えて頂きたいのです。そして、皆さんが抱えている夢を実現させるためにしっかりと学習をしていただきたいのです。そのためには、できる限りひとり一人が持つ知性と精神力を伸ばして行っていただきたいのです。これからの2年間または4年間のあなたたちの主な仕事は勉強することであることを意識してください。

皆さんが本学で学ぶ間には、知識と心のバランスを取り、人間として調和を保てるようになっていただきたいと私は思っています。そのために必要なことは、優れた学問、倫理的な価値観と宗教的な価値観を身に付けることです。

本学はカトリック大学として、キリスト教のヒューマニズムに基づいて教育を行っています。キリスト教のヒューマニズムは、全人を形成することを目指しています。すなわち、頭と心のバランスを取ることができるような教育を与えることです。私たちはこの世のためだけではなく、神の世界に向かって生きているのです。私たちは、この永遠的な

次元を求めることによって、人生に生きがいと希望を持つことができます。こうして、私たちは自然環境を大切にしながら他の人々と連帯し、平和な世界を建設することができます。

本学は、聖ドミニコ修道会によって経営されています。聖ドミニコ修道会は、キリスト的な愛と研究によって得た真理を伝えるために約800年前に設立されました。創立された時から、学問に重きを置く修道会として知られています。その使命を果たすために多くの人が全世界に出て行き、現在まで何千もの教育機関を運営して来ました。本学も、聖ドミニコ修道会の愛と真理の精神を掲げて、自ら建学の精神としました。そして、14世紀イタリアのシエナ市に生まれ、聖ドミニコ修道会に属した偉大な女性、聖カタリナを保護者として選びました。

本学の建学の精神である「愛と真理」を変わることのない普遍的な価値として、皆さんの心に刻んでいただきたいのです。そして、常に真実を語る者として、またすべての人を愛する寛大な心を形成してください。

本学のキャンパスは家庭的な雰囲気を持っています。皆さんがこの家庭的な雰囲気の中で友情を育て、学問を修得し、素晴らしい人格を造り、楽しい学生生活を送ることを期待しています。

最後に、入学した皆さんが聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部の学生として誇りをもって、実りのある楽しい学生生活を送ってくれることを祈っています。

●令和元年度愛媛銀行寄付講座・聖カタリナ大学「風早の塾」最終講義

12月21日(土)、愛媛銀行寄付講座公開講座「風早の塾」の最終講義が行われ、令和元年度の全日程を終了いたしました。

当日は、本学保育学科 藤井澄子 教授が「音楽療法ってどんなことをしているの？」をテーマに最終講義を行い、講座の最後にはホビノ・サンミゲル学長より挨拶がありました。

「^{オルガン}の音にさそわれて」をメインテーマに掲げて、レクチャーコンサートを合計8回開催しました。



●令和元年度人間社会学科卒業研究論文報告会を開催

2月7日(金)、令和元年度人間社会学科卒業研究報告会が開催されました。

この報告会では、人間社会学科の4年生全員が「専門演習Ⅱ」で取り組んだ卒業研究について口頭でのプレゼン発表(社会学系)とポスター発表(心理学系)を行い、それぞれの会場で活発な質疑応答がなされました。

各会場には聞き手・質問者として2・3年生の学生も参加し、発表者である4年生に質問等を行いました。

4年生にとっては、大学4年間の学習の集大成として研究成果を発表する大切な機会となりました。



大学
ドローン動画



大学
公式LINE



大学公式
Instagram



受験希望
の方



ご寄付のお願い【教育振興募金のご案内】

聖カタリナ学園では聖カタリナ大学・聖カタリナ大学短期大学部の教育事業を永続的に発展させるため、また、教育環境の維持、充実を図るための支援として、皆様からの募金のご支援を受け付けております。

趣旨をご理解いただき、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【お問い合わせ・お申し込み先】

学校法人聖カタリナ学園 法人本部事務局 〒799-2496 愛媛県松山市北条660番地

TEL 089-993-1300 FAX 089-992-5616



◆◇ 令和元年度後期行事 (R1.10.1 ~ R2.3.31) ◇◆

月	日	曜	区	行 事	
10	1	火		大学訪問 (新田青雲中等教育学校)	
	2	水	大	教授会、社会福祉学科会議、学生生活委員会	
			短	教授会、保育学科会議	
	3	木		危機管理担当会議	
	4	金		SD委員会	
	5	土	大	寄付講座②「風早の塾」	
	8	火		パイプオルガン演奏会実行委員会	
	9	水	大	健康スポーツ学科会議	
	10	木		図書館委員会	
	11	金	大	まつやまシニアカレッジ	
	12	土	大	寄付講座③「風早の塾」	
	15	火		パイプオルガン演奏会実行委員会	
	16	水		理事長講話 (北条キャンパス)	
			大	社会福祉実習委員会	
			短	教授会、保育学科会議	
	17	木	大	教授会、人事委員会	
	18	金		理事会、危機管理委員会	
	23	水		理事長講話 (松山市駅キャンパス)、キリスト教研究所フォーラム、学生生活委員会、教務委員会	
			大	大学評価委員会、教務委員会、学生生活委員会	
	24	木		衛生委員会	
	25	金	大	大学祭 (~ 10/27)	
	28	月	短	人事委員会	
	29	火		学長候補者推薦会議	
	30	水		人間文化研究所フォーラム、SD委員会	
	31	木		課長会議	
	11	2	土	大	推薦入試
				短	推薦入試
		5	火		会計監査 (~ 11/6)
				短	保育実習【保1】 (~ 11/16)
		6	水	大	入試・募集委員会、社会福祉学科会議
				短	教授会、人事教授会
7		木	大	教授会	
9		土	大	推薦入試 (看護学科)、寄付講座④「風早の塾」	
13		水	大	教授会、選考教授会、健康スポーツ学科会議	
			短	保育学科会議	
14	木		図書館委員会		
15	金		SD委員会、教務委員会		
		大	まつやまシニアカレッジ		
16	土	大	寄付講座⑤「風早の塾」		

月	日	曜	区	行 事
11	20	水		財務委員会、学長候補者推薦会議、キリスト教研究所フォーラム
			大	人事委員会
			短	人事教授会
	26	火	短	教務委員会
	27	水		第三者評価委員会、人間文化研究所フォーラム、学生生活委員会
	28	木		奨学金制度運営委員会
	29	金		中・長期経営計画委員会
	30	土		評議員会・理事会
			大	寄付講座⑥「風早の塾」
	12	3	火	大
4		水	大	大学評価委員会、自己点検評価報告書執筆者説明会
			短	教授会
6		金	大	まつやまシニアカレッジ
7		土	大	推薦入試
			短	推薦入試
9		月	大	入試・募集委員会
10		火		SD委員会
			短	入試・募集委員会
			水	教学マネジメント委員会
11		水	大	教授会、選考教授会、健康スポーツ学科会議
			短	教授会、保育学科会議
12		木		大学訪問 (北宇和高校)
13		金		財務委員会、入試・募集委員会
14	土	大	寄付講座⑦「風早の塾」	
18	水		IR推進委員会、キリスト教研究所フォーラム	
		大	人事委員会、健康スポーツ学科会議	
20	金		理事会、人間文化研究所フォーラム、学内クリスマス	
21	土		冬季休業開始	
23	月	大	寄付講座⑧「風早の塾」、人事委員会、研究倫理委員会	
		大	精神保健福祉現場実習報告会・連絡会	
24	火		SD研修会	
		大	社会福祉実習委員会、社会福祉学科会議	
1	7	火		冬季休業終了
	8	水		合同教授会、奨学金制度運営委員会、遠隔地支援制度部会
			大	看護学科運営会議、健康スポーツ学科会議、社会福祉実習委員会
	9	木	大	教務委員会
	14	火	短	幼稚園教育実習【保1】 (~ 1/27)

月	日	曜	区	行 事
1	15	水	大	人事委員会、看護学科会議
			短	保育学科会議
	17	金	大	まつやまシニアカレッジ
	22	水		キリスト教研究所フォーラム
			大	選考教授会、大学評価委員会、教務委員会
	25	土		評議員会・理事会
	27	月	短	教授会、学生生活委員会
29	水		人間文化研究所フォーラム	
		大	社会福祉実習委員会、社会福祉学科会議	
2	1	土	大	一般入試
			短	一般入試
	4	火	短	入試・募集委員会
	5	水		人間文化研究所フォーラム、国際交流委員会、学生生活委員会
			大	人事委員会
			短	教授会
	6	木	大	入試・募集委員会
	7	金	大	まつやまシニアカレッジ、看護学科キャンパス会議
			短	後学期授業終了
	10	月	大	介護福祉実習 [介2] (～3/6)
	12	水		学生生活委員会、入試制度WT会議
			大	教授会、人事委員会、健康スポーツ学科会議
	13	木	大	介護福祉実習 [介3] (～3/11)
	14	金		学長と学生との懇談会 (北条キャンパス)
			大	人事委員会
	17	月	大	精神保健福祉援助実習 [社3] (～3/6)、基礎看護学実習Ⅱ (～2/28)、人事委員会、教務委員会
			短	保育実習 [保1] (～2/29)
	18	火	大	社会福祉学科会議、看護学科キャンパス会議
	19	水		キリスト教研究所フォーラム
			大	選考教授会、教授会
			短	保育学科会議
20	木	大	一般入試	
		短	一般入試、入試・募集委員会	
21	金		学長と学生との懇談会 (松山市駅キャンパス)	
		短	教務委員会	
25	火	大	入試・募集委員会	
26	水		理事会、危機管理委員会	
		大	教授会	
		短	教授会	

月	日	曜	区	行 事
2	27	木	大	教務委員会
	28	金		将来計画委員会、財務委員会
			短	人事委員会
29	土		後援会役員会	
3	2	月		危機管理委員会
			大	基礎看護学実習Ⅱ (～3/13)
	短	保育実習 [保1] (～3/14)、学生生活委員会		
3	火		教学マネジメント委員会	
		大	教務委員会	
4	水	短	教授会、保育学科会議	
5	木		FD委員会	
		大	学生生活委員会	
6	金		第三者評価委員会 (中止)	
		大	人間社会学科会議	
9	月		奨学金制度運営委員会	
		短	初心者のためのピアノ教室 (中止)	
10	火		危機管理委員会	
		大	入試・募集委員会	
		短	入試・募集委員会	
11	水	大	看護学科運営会議	
12	木		危機管理対策本部会議	
		大	人事委員会、社会福祉実習委員会、社会福祉学科会議	
13	金	大	看護学科キャンパス会議	
15	日		卒業式 (中止)	
16	月		障がい学生支援チーム会議	
		大	選考教授会、教授会、健康スポーツ学科会議	
		短	人事教授会、教授会、保育学科会議	
17	火	短	保育学科会議	
18	水		入試・募集委員会、IR推進協議会	
		大	自己・点検評価報告書の提出に係る進捗状況確認会議	
19	木		危機管理対策本部会議	
21	土		春季休業 (～3/31)	
22	日		春のオープンキャンパス (中止)	
24	火		危機管理対策本部会議	
25	水	大	教職課程委員会、看護学科運営会議	
28	土		評議員会・理事会	
30	月	大	学生生活委員会	

◆◇ 令和元年度卒業生就職等進路状況 ◇◆

令和2年5月1日現在

1. 業種別状況

【聖カタリナ大学】

業 種 / 学 科		就 職 者 数			
		社会福祉	人間社会	健康スポーツ	合 計
企 業	建設／製造	2	8	3	13
	情報通信／運輸，郵便	1	3	5	9
	卸売，小売	5	9	9	23
	サービス(宿泊，複合他)	1	10	11	22
	その他(電気，不動産他)	1	2	3	6
医療，福祉	医療，保健衛生(病院他)	3	0	1	4
	児童福祉施設	0	1	0	1
	老人福祉施設	12	1	2	15
	障害者福祉施設	6	0	0	6
	その他(社会福祉協議会他)	2	0	0	2
公 務	国家公務員	1	1	1	3
	地方公務員	1	3	2	6

【聖カタリナ大学短期大学部】

業 種 / 学 科		就職者数
		保 育
教 育 ， 学 習 支 援	私立幼稚園	20
	幼保連携型認定こども園	20
児 童 福 祉	公立保育所	2
	私立保育所・託児所	28
	児童養護施設	3
	その他の児童福祉事業	1
医療，福祉	病院	2
	その他の福祉，介護事業	1
企 業	製造，サービス他	1

就職者数	35	38	37	110	
(県 内)	(31)	(29)	(29)	(89)	
(県 外)	(4)	(9)	(8)	(21)	
卒業生内訳	就職未定者数	4	3	0	7
	就職希望者数	39	41	37	117
	就職率	89.7%	92.7%	100.0%	94.0%
	進学決定者	0	0	1	1
	家事・その他	3	8	1	12
	卒業生数	42	49	39	130

就職者数	78	
(県 内)	(76)	
(県 外)	(2)	
卒業生内訳	就職未定者数	0
	就職希望者数	78
	就職率	100.0%
	進学決定者	3
	家事・その他	2
	卒業生数	83

2. 職種別状況

【聖カタリナ大学】

職 種 / 学 科	就 職 者 数			
	社会福祉	人間社会	健康スポーツ	合 計
医療ソーシャルワーカー(M S W)	1	0	0	1
精神科ソーシャルワーカー(P S W)	1	0	0	1
支援員(知的・身障・児童他)	6	0	0	6
介護福祉士，介護職	11	1	2	14
その他の福祉専門職(社会福祉士他)	3	1	0	4
事務	4	3	4	11
販売，営業	4	17	17	38
インストラクター・実践指導者他	0	0	5	5
その他(サービス，保安，生産他)	5	16	9	30
合 計	35	38	37	110

【聖カタリナ大学短期大学部】

職 種 / 学 科	就職者数
	保 育
幼稚園教諭	34
保育士	38
社会福祉専門職業，介護サービス職業	5
サービス職業，生産工程他	1
合 計	78

◆◆ 令和元年度教授会議題（後期） ◆◆

【聖カタリナ大学教授会議題】

R 1. 10. 2 第7回

1. 2020年度A O入試合格者選考について
2. 2020年度第3年次編入学提携校推薦入試（I期）合格者選考について
3. 2020年度第3年次編入学一般入試（I期）合格者選考について
4. 除籍について

R 1. 10. 17 第8回

1. 休学について
2. 退学について
3. 聴講生の受け入れについて
4. 履修科目登録の特別許可について

R 1. 11. 7 第9回

1. 2020年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科特別推薦入試(指定校・専願・スポーツI期)合格者選考について

R 1. 11. 13 第10回

1. 2020年度看護学科推薦入試（指定校・公募制・学園特別）合格者選考について
2. 退学について
3. 2020年度学年暦について

R 1. 12. 11 第11回

1. 2020年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科スポーツ推薦入試（II期）合格者選考について
2. 2020年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科一般推薦入試合格者選考について
3. 2020年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科外国人留学生特別入試（指定校推薦）合格者選考について
4. 学長賞受賞者の選考について

R 2. 1. 8 第12回

1. 聖カタリナ大学学則の一部改正について
2. 聖カタリナ大学短期大学部学則の一部改正について

R 2. 2. 12 第13回

1. 2020年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科一般入試（A日程）合格者選考について
2. 2020年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科大学入試センター試験利用入試(前期)合格者選考について
3. 2020年度看護学科試験入試合格者選考について
4. 復学について
5. 退学について
6. 聖カタリナ大学学生懲戒規程の制定について
7. 聖カタリナ大学学則の一部改正について
8. 聖カタリナ大学大学評価委員会規程の一部改正について
9. 聖カタリナ大学内部質保証に関する方針及び手続きの策定について

R 2. 2. 19 第14回

1. 卒業判定について

R 2. 2. 26 第15回

1. 2020年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科一般入試（B日程）合格者選考について
2. 2020年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科第3年次編入学試験(提携校推薦II期)合格者選考について
3. 2020年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科第3年次編入学試験（一般II期）合格者選考について
4. 2020年度看護学科センタープラス入試（A日程）合格者選考について
5. 卒業研究論文に関する規程の一部改正について

R 2. 3. 16 第16回

1. 2020年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科一般入試（C日程）合格者選考について
2. 2020年度社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科大学入試センター試験利用入試(後期)合格者選考について
3. 2020年度看護学科センタープラス入試（B日程）合格者選考について
4. 卒業の認定について
5. 進級判定について
6. 転学科・転専攻について
7. 休学について
8. 退学について
9. 社会福祉学科の専攻廃止について
10. 社会福祉学科・人間社会学科・健康スポーツ学科の編入学定員の減員について
11. 聖カタリナ大学学則の一部改正について
12. カタリナ・ボランティアセンター規程の一部改正について

【聖カタリナ大学短期大学部教授会議題】

R 1. 10. 2 第7回

1. 2020年度A O入試合格者選考について

R 1. 10. 16 第8回

- ※ 報告・連絡事項のみ

R 1. 11. 6 第9回

1. 2020年度特別推薦入試(指定校・専願)合格者選考について
2. 2020年度学年暦について

R 1. 12. 4 第10回

1. 学長賞受賞者の選考について

R 1. 12. 11 第11回

1. 2020年度外国人留学生特別入試（指定校推薦）合格者選考について

R 2. 1. 8 第12回

1. 聖カタリナ大学学則の一部改正について
2. 聖カタリナ大学短期大学部学則の一部改正について

R 2. 1. 27 第13回

1. 学生の懲戒について

R 2. 2. 5 第14回

1. 2020年度一般入試（A日程）合格者選考について
2. 2020年度大学入試センター試験利用入試（前期）合格者選考について
3. 聖カタリナ大学短期大学部学生懲戒規程の制定について
4. 聖カタリナ大学短期大学部学則の一部改正について

R 2. 2. 26 第15回

1. 2020年度一般入試（B日程）合格者選考について
2. 卒業判定について

R 2. 3. 4 第16回

1. 懲戒処分中の学生に対する再処分について
2. カタリナ・ボランティアセンター規程の一部改正について

R 2. 3. 16 第17回

1. 2020年度大学入試センター試験利用入試（後期）合格者選考について
2. 2020年度社会人特別入試（II期）[リカレント訓練] 合格者選考について

◆◆ 令和元年度学校法人聖カタリナ学園決算概要 ◆◆

■ 1. 資金収支決算

資金収支決算は、資金収入が42億49百万円（予算比△76百万円）、資金支出が42億3百万円（予算比△1億3百万円）となりました。結果、収支差額46百万円に前年度繰越支払資金18億22百万円を加算し、翌年度繰越支払資金は18億68百万円となりました。

■資金収支計算書：当該会計年度の諸活動に対応するすべての収入及び支出の内容並びに当該会計年度の支払資金（現金&いつでも引き出すことのできる預貯金）の収入及び支出の顔を表します。

(注) 表中数字の単位は、「百万円」です。
百万円未満は四捨五入して記載しています。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)	
前年度繰越支払資金	1,822	1,822	—	
当年度	資金収入	4,324	4,249	△76
	資金支出	4,306	4,203	△103
	収支差額	19	46	27
翌年度繰越支払資金	1,841	1,868	27	

■ 2. 事業活動収支決算

事業活動収支決算は、事業活動収入が41億円（予算比△6百万円）、事業活動支出が43億30百万円（予算比△4百万円）となり、基本金組入前当年度収支差額は△2億29百万円（予算比△2百万円）となりました。同差額より基本金を組み入れた結果、当年度収支差額は△2億29百万円（予算比△2百万円）となり、基本金取崩額35百万円を加え、翌年度繰越収支差額は△57億9百万円（予算比+7百万円）となりました。

■事業活動収支計算書：当該会計年度の事業活動収入（学校の負債とならない収入）及び事業活動支出（現預金の支出を伴わない減価償却額や退職給付引当金繰入額などを含む）の内容を表すとともに、基本金組入前及び基本金組入後の収支均衡状態を明らかにします。一般企業会計の「損益計算書」に当たります(右表は総括様式)。

科 目	予 算 (a)	決 算 (b)	増 減 (b)-(a)
事業活動収入計 ①	4,106	4,100	△6
事業活動支出計 ②	4,334	4,330	△4
基本金組入前当年度収支差額 (①-②)	△227	△229	△2
基本金組入額合計	0	0	0
当年度収支差額	△227	△229	△2
前年度繰越収支差額	△5,515	△5,515	—
基本金取崩額	27	35	8
翌年度繰越収支差額	△5,715	△5,709	7

■ 3. 貸借対照表

貸借対照表は、本年度末（2020年3月31日）において、資産の部は156億99百万円、負債の部は24億31百万円、純資産の部（正味財産）は132億68百万円（基本金189億77百万円と繰越収支差額△57億9百万円の合計額）となりました。

■貸借対照表：一定時点（本学は3月末現在）の資産、負債、純資産（基本金・繰越収支差額）の内容及び在り高を明示し、財産の状態を表します。

科 目	本年度末 (a)	前年度末 (b)	増 減 (a)-(b)
資産の部			
固定資産	13,573	13,685	△111
流動資産	2,126	2,198	△72
資産の部合計	15,699	15,882	△183
負債の部			
固定負債	1,738	1,769	△32
流動負債	693	616	78
負債の部合計	2,431	2,385	46
純資産の部			
基本金	18,977	19,012	△35
繰越収支差額	△5,709	△5,515	△194
純資産の部合計	13,268	13,497	△229
負債及び純資産の部合計	15,699	15,882	△183

* 学校法人会計基準について * * * * *
学校法人は、一般事業法人と異なり、利益の獲得を目的とした組織ではありません。学生生徒や社会に対して、教育研究活動を通じた人材育成という崇高な使命を負った社会性、公共性の高い存在です。しかしながら、「経営」という視点を欠き、過大な設備投資や場当たりの運営を続けていると、収入と支出のバランスを失い、経営基盤の不健全化を招き、場合によっては、存続すら危うくなってまいります。こういった事態を防ぐために、経営の実態を会計面から適時、的確に把握できるよう、一定の会計処理ルールが定められています。それが、昭和46年に文部省令第18号として制定された「学校法人会計基準」です。国または地方公共団体から補助金の交付を受けている学校法人は、私立学校振興助成法第14条に基づき、「文部科学大臣の定める基準に従い、会計処理を行い、貸借対照表、収支計算書その他の財務計算に関する書類を作成しなければならない」とされています。なお、学校法人会計基準の一部を改正する省令(平成25年4月22日文部科学省令第15号)が平成27年4月1日に施行され、平成27年度以降の予算・決算に適用されています。* * * *

◆◆ 人 事 ◆◆

《令和元年11月11日付け》

【新規採用】
看護学科事務部局
実習助手(非) 原田 信子

《令和元年12月10日付け》

【新規採用】
看護学科事務部局
実習助手(非) 柿本 千代子

《令和元年12月31日付け》

【退職】
看護学科事務部局
事務職員(非) 善家 美奈子

《令和2年1月1日付け》

【新規採用】
人間健康福祉学部
教授 梶原 恭子

《令和2年3月23日付け》

【新規採用】
看護学科事務部局
事務職員(非) 大野 弥生

《令和2年3月31日付け》

【退職】
人間健康福祉学部
教授 佐々木 裕子
講師 福田 哲也
講師 水口 啓吾

保育学科
教授 日野 幸子
教務課
事務職員(非) 大橋 美沙
学生支援課
事務職員(非) 大矢 史

入試課

事務職員(非) 早田 健
看護学科事務部局
事務職員(非) 兼頭 理恵子
実習助手(非) 柿本 千代子
実習助手(非) 金井 恵巳

《令和2年4月1日付け》

【新規採用】
人間健康福祉学部
講師 坂下 恵美子
助教 玉井 寿枝
助教 有吉 美恵
助教 高橋 味央
助教 高藤 真作
助手 上田 裕子

保育学科

助教 宮崎 正宇
教務課
主任 砂野 佑介
総務課
技術職員(ばけっと)(非) 武田 絵理奈
学生支援課
事務職員(非) 早田 健
看護学科事務部局
事務職員(非) 山内 理恵子
カウンセラー(非) 青柳 潤子
附属図書館分館(非) 山本 香織

(8Pへ続く)

【昇任】		入試課		会計課		【処遇変更】
人間健康福祉学部		課長	宮崎 和典	主任	川端 慶子	学長相談役兼学生部相談役(非)
准教授	大久保 元正	主任	渡部 聖菜	【配置換え】		大浦 慎一
准教授	青木 謙介	総務課		学生支援課		【配置換え】
准教授	鈴木 茂久	課長補佐	中武 勇人	課長	新名 敏弘	【配置換え】
講師	小木曾 真司	就職課		入試課		総務課
保育学科		係長	松田 文子	課長	宮崎 和典	事務職員(非) 宮土 忍
教授	竹田 信恵	学生支援課		【職位変更】		
		係長	山内 宏之	学生支援課		
				担当課長	大橋 尚哉	

◆◇ 研究室探訪 ◇◇

聖カタリナ大学 人間健康福祉学部 社会福祉学科 介護福祉専攻 講師 小木曾 真司

大学進学をめざし落第。「就職率が良いし介護に抵抗感はない」との理由で介護福祉士養成校に進学。卒業後、介護福祉士、介護支援専門員として従事し「特別な展望もなくそれなりに歩んできた」というところが本音。

そんな不真面目な私ですが、今思えば、「あなたら介護福祉士は利用者の尻の穴まで見とんのに、何で細かい情報出さんのや！」とベテラン介護支援専門員(ケアマネジャー)に叱咤されたことが教員に転向する契機だったかもしれません。その後、介護支援専門員として相談援助をするなかで、介護福祉士として従事してきた自分は、他の介護支援専門員に比べてどのような支援の違いがあるのか意識するようになりました。というのも、介護支援専門員は保健・医療・福祉に係る法定資格保有者等であって、5年以上の実務経験期間を満たした者でなければなりません。つまり、介護支援専門員の業務は、介護福祉士や看護師など、基礎資格に影響を受けると推測できるのです。この問題意識と前述エピソードがリンクし、介護福祉士の経験知が介護支援専門員の業務にどのように活かされるのかについて、修士論文のなかで検討しました。

さて、介護福祉士養成施設の教員として歩み始め、はや6年となりますが、専門領域は、介護福祉、高齢者福祉です。とりわけ介護福祉士の専門性について研究しています。介護の仕事は、①利用者の心身に直接触れ支援する、②利用者の生理的欲求に直接対応する、③利用者の生活環境に直接関与する、な

ど、「ダイレクト」、「直接性」の特徴が強いです。そのため、プライベートに介入する機会も多く、利用者の生活のリアルに触れる仕事とも言えます。だからこそ、介護福祉士が生活支援の先導者として、他職種連携の中核的役割を担うべきであろうと思います。そういった意味で、利用者の生活を少しでも良い方向へ展開するためには、介護福祉士の存在は不可欠であり、介護福祉士の働き一つで、他職種の仕事に影響を与えるといっても過言ではないと思います。

他方、今後、介護需要の増大が予測されるうえで、介護人材の量的確保が必要です。ということは、多様な経路から介護入職が増えることになり、さらに、在留資格等の拡大にともない外国人介護人材が入職すれば、背景知識や技能、経験の違いによって、介護の在り方に関する思考が多様化すると考えられます。つまり、現場の介護の質を担保するためには、やはり介護福祉士という専門職の活躍が求められます。

これからの介護福祉士は、高度な支援を提供する一介護職員にとどまらず、介護チームとしてまとめていくマネジメント力、そして、協働する職員や家族を含めた、介護者に対する指導力が求められていると感じています。将来の介護福祉を担う学生が、専門的知識・技術・倫理を得られるよう、いろいろな方のご指導をいただきながら教育、研究に励んでいきたいと思っています。

聖カタリナ大学・短期大学部学報
〒799-2496 愛媛県松山市北条6-6-0 番地
TEL. 089-993-0702(代)
<http://www.catherine.ac.jp>
編集・発行
広報委員会
kouhou@catherine.ac.jp